

平成 28 年度 「みんなの力でつくるまち」活動支援事業評価報告書

| | |
|--------------|--|
| 事業名 | 軽井沢西地区のピオトープ整備・自然ガイドマップ制作プロジェクト |
| 団体名 (連絡先) | ピオトープ KBS 軽井沢町大字長倉 5292-1 電話&FAX 0267-46-2336 |
| 総事業費 | 425,167 円 (うち補助金: 202,000 円) |

事業内容

- ① 休耕地の 1 区画に水を引き、古代米を栽培。従来の活動拠点は草原として整備。残り 2 区画は畑にし、ルバーブ・行者ニンニク・ブルーベリーなどを栽培。加工して販売し今後の活動資金とする。
- ② 町内や都会の幼児・小学生たちの自然体験の場。ホテル・アサギマダラのミニ観察会を開催。
- ③ 信濃追分駅を起点とした「駅からウォーキング」の開催。KBS のパンフレット及び軽井沢西地区の「蝶舞う夢街道の自然散策ガイドマップ」を制作する。



【アサギマダラの観察会】

事業効果

- ① 田んぼの整備により、古代米の栽培も可能になり水生生物の増加に繋がった。ルバーブジャム販売は追分道中など地域のイベントで快く受け入れて頂き、ピオトープ活動への理解を深める機会にもなった。
- ② 埼玉の幼稚園児たちが木登り、軽井沢のトムソーヤクラブの児童たちがアサギマダラのマーキングを体験。会員と共に野菜の収穫も楽しんだ。
- ③ イベントは FM 軽井沢で告知、自然散策マップの制作、HP にも着手、活動の広報に繋がっている。

【目標・ねらい】

- 休耕田の整備により、野生生物の生息空間を広げていく。
- 子どもたちに自然を体感してもらい、人間の営みが自然の中にあることを伝えていく。
- 近隣の環境保全団体などと連携して、浅間山麓の自然をテーマにした地域づくりを推進する。

自己評価 (目標達成率)

【 A 】

今後の取り組み

2000 坪以上に広がった敷地を整備管理するため、近隣地域の動ける会員を増していくことが課題。水生生物の復活を期して水田スペースを拡大する。地域の用水路の整備や掃除に積極的に参加していく。子どもたちの受け入れ回数を増やすためにも会員の学習の機会を増やす。

制作した散策マップをもとに、近隣団体と連携し浅間山麓の自然をテーマにした地域づくりに努める。活動資金を確保するため、女性会員によるルバーブジャム作りに加え、行者ニンニク醤油漬け販売も検討する。制作中の HP を充実したものにし、活動への共感、参加を求める。

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。